

■使用評価マニュアル: 北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト: CASBEE北九州_2014(v2.0)

1 建物概要

建物名称	(仮称)D-ROOM白銀PJ新築工事	BEE	1	BEEランク	B+	★★★
------	--------------------	-----	---	--------	----	-----

2 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.1 / 5		ふつう
2 地球温暖化対策の推進	2.2 / 5		がんばろう
3 豊かな自然環境の確保	2.3 / 5		がんばろう
4 高齢社会への対応	3.0 / 5		ふつう

※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価 凡例	よい 4 点以上		ふつう 3 点以上		がんばろう 3 点未満	
-------	----------------	--	-----------------	--	-------------------	--

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル:	CASBEE-建築(新築) 2016年版	使用CASBEE評価ソフト:	CASBEE-BD_NC_2016(v.4.0)
1 循環型社会への貢献		スコア平均 3.1	
リサイクルに関する配慮 LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア 2.6	長寿命化に関する配慮 Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数 Q2/ 3 対応性・更新性	スコア 3.4 スコア 3.4
<自由記述>		<自由記述>	
2 地球温暖化対策の推進		スコア平均 2.2	
省エネ・省資源に関する配慮 LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア 3.4	節水に関する配慮 LR2/ 1.1 節水	スコア 1
<自由記述>		<自由記述>	
3 豊かな自然環境の確保		スコア平均 2.3	
生態系保全に関する配慮 Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 1	緑化に関する配慮 Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上 LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 3 スコア 3
<自由記述>		<自由記述>	
4 高齢社会への対応		スコア平均 3.0	
バリアフリーに関する配慮 Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア 3	主な指標 建物の外皮性能 (BPI評価) 非住宅: BPI値、住宅: 省エネ等級 等級4 建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価) 非住宅: BEIm値、住宅: 0.79 外構緑化指数 1 % 建物緑化指数 0 %	
<自由記述>			

: 入力欄

: CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)D-ROOM白銀PJ新築工事	階数	地上9F、地下0F		
建設地	福岡県北九州市小倉北区白銀1丁目55番	構造	RC造		
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	40人		
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2021年1月20日		
敷地面積	572.90㎡	作成者	矢嶋 陽平		
建築面積	298.40㎡	確認日	2021年1月22日		
延床面積	2,042.13㎡	確認者	矢嶋 陽平		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★



環境効率: 41
環境負荷L: 46

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)




Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6


Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1




Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0



Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.4



LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1



LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0



3 設計上の配慮事項		
総合 省エネ・地球温暖化防止について配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 断熱材及び断熱補強について考慮し、断熱等性能等級4をクリアしている。	Q2 サービス性能 配管の耐用年数について配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 日陰を確保し暑熱環境を緩和している。
LR1 エネルギー 高効率設備・LED照明を導入し、省エネルギーを図っている。	LR2 資源・マテリアル 環境に配慮した発泡系断熱材を使用している。	LR3 敷地外環境 地球温暖化防止に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)D-ROOM白銀PJ新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q1 建築物の環境品質								2.6	
Q1 室内環境						0.40	-	3.1	
1 音環境					3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル					3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音					3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能					3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能					-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音					-	-	-	-	
2 温熱環境					1.0	0.35	3.1	1.00	2.8
2.1 室温制御					1.0	1.00	3.3	0.50	
1 室温		共用:空調設備なし			-	-	3.0	0.63	
2 外皮性能		共用:レベル1相当、住居:等級4			1.0	1.00	4.0	0.38	
3 ゾーン別制御性					-	-	-	-	
2.2 湿度制御		共用:空調設備なし			-	-	3.0	0.20	
2.3 空調方式		共用:空調設備なし			-	-	3.0	0.30	
3 光・視環境					3.3	0.25	3.0	1.00	3.0
3.1 昼光利用					4.2	0.30	3.0	0.30	
1 昼光率		共用:13.0%、住居:1.4%(補助資料及び平面図参照)			5.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口					-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御					3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度					3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御					3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境					3.6	0.25	4.0	1.00	3.9
4.1 発生源対策					4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		共用・住居:ほぼ全面にF☆☆☆☆建材を採用			4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気					3.0	0.40	4.0	0.38	
1 換気量		共用:24H換気なし、住居:0.5回*1.4<0.75回(補助資料参照)			-	-	5.0	0.33	
2 自然換気性能		住居:4.52㎡(AW-1*4の合計)>30.68㎡*1/8(DタイプLDK)			-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	1.00	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視					-	-	-	-	
2 喫煙の制御					-	-	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.0
1 機能性					2.4	0.40	2.8	1.00	2.7
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性					-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応					-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					1.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観		住居:LD及び洋室の天井高=2.6m(平面詳細図参照)			-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-	
3 内装計画					1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位3種にB以上を使用(補助資料参照)			5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備					3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					1.0	0.20	-	-	
3 電気設備					3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					3.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性		3.0	0.30	3.6	1.00	3.4
	3.1 空間のゆとり		-	-	4.2	0.50	
	1 階高のゆとり	階高3.0m以上(矩計図参照)	-	-	5.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.44(平面図参照)	-	-	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり	-	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
G3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	1.4
1	生物環境の保全と創出	-	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	1.0	0.40	-	-	1.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.3
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制	建築物省エネ法届出書参照	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用	-	2.0	0.10	-	-	2.0
3	設備システムの高効率化	建築物省エネ法届出書参照	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.7
1	水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1 節水	-	1.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	1.00	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60	-	-	2.6
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	GL工法	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.9	0.20	-	-	3.9
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	接着剤F☆☆☆☆(内部仕上げ表(1)参照)	5.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	硬質ウレタンフォーム保温板2種1号(ODP=0, GWP=11)	4.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	冷媒:R32	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.0
1	地球温暖化への配慮	BEI=0.79	3.4	0.33	-	-	3.4
2	地域環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.2	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	